

予算のあらまし

～市民と共に進めるまちづくり～

一般会計 173億円 + 特別会計 86億円 + 企業会計 25億円 = 合計 284億円

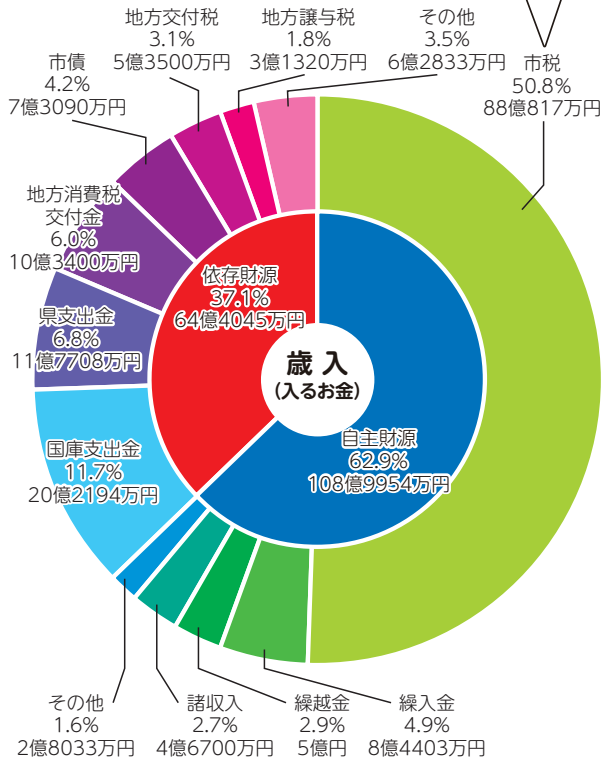
一般会計

自主財源 108億9954万円
依存財源 64億4045万円

新年度の自主財源は歳入総額の62.9%を占めている。

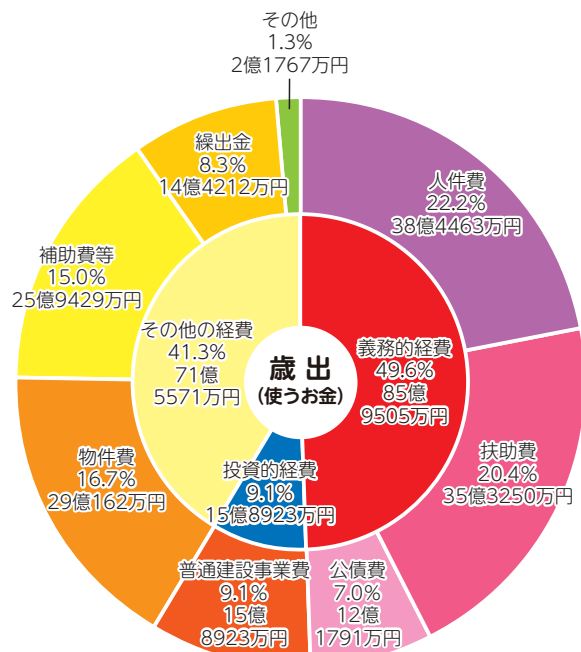
市の歳入には、個人市民税・法人市民税・固定資産税・市たばこ税の市税や繰入金などの**自主財源**（この割合が高いほど財政が安定）と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入の**依存財源**がある。

個人市民税	24億7800万円	法人市民税	4億2620万円
固定資産税	51億7900万円	交付金	2億7217万円
軽自動車税	1億2150万円	市たばこ税	3億3000万円
入湯税	130万円		



義務的経費 85億9505万円
投資的経費 15億8923万円

歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費はその支出が義務づけられ、任意に節減することができない**義務的経費**（この割合が小さいほど財政にゆとりがある）と、普通建設事業費や災害復旧事業費などの**投資的経費**がある。



令和6年度予算は、「安全・安心なまちづくり」、「高齢者福祉の充実」、「子育て支援の充実」といった重点施策に加え、初年度に当たり、新たに第2次次富市総合計画後期基本計画に盛り込まれた「賑わいの創出」や「DXの推進」のための施策にも重点的に予算の配分を行った。

令和6年度の予算規模は一般会計が173億4千万円、前年度比96.8%となった。特別会計は、4会計を合わせ86億265万円、前年度比103.6%、企業会計は25億3382万円、前年度比105.6%すべての予算の合計では284億7648万円、前年度比99.5%となった。歳入の50.8%を占める市税収入は、固定資産税が増加するなど、市税全体では前年度比101.5%の88億817万円を見込んでいる。

歳出では、弥富北中学校の長寿命化改良事業や白鳥コミュニティセンターの特定天井撤去改修事業などの投資的経費を、前年度比58.2%の15億8923万円を計上している。